

支部長挨拶



支部長 石井 正一（昭和48年経済卒）

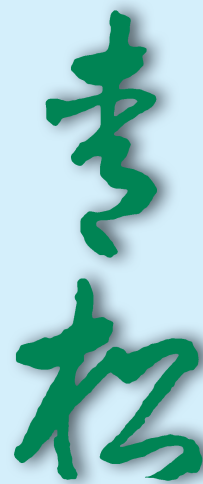
実りの秋に、母校の歩みと確かな絆を想う

地球温暖化が災害級レベルに達したような酷暑もようやく和らぎ、朝夕の心地よい風に確かな秋の訪れを感じる季節となりました。

同窓の皆様におかれましては、益々ご健勝にてご活躍のことと心よりお慶び申し上げます。また、日頃より当支部の活動に温かいご理解と多大なるご協力をいただき、深く感謝申し上げます。

さて、私たちの母校である新潟大学は、時代の変化に柔軟に適応しながら、教育・研究の両面で常に進化を続けています。近年では、最先端の学際的研究や地域社会の課題解決に向けた産学官連携など、輝かしいニュースが次々と発信されており、首都圏で活躍する私たちにとても、大変誇らしく、心強い限りです。キャンパスの様子は時代とともに変われども、五十嵐の潮風や古町の歴史ある佇まいの中で、私たちが共に抱いた学びの精神は、今もなお後輩たちへ脈々と受け継がれています。

このような母校の発展を支え、同窓生としてのネットワークをより強固なものにしていこう



新潟大学
人文・法・経済学部
同窓会
(略称) 青松会
首都圏支部 同窓会報

第40号（2026年10月発行）



編集責任者 岡小夜子
事務局 成田 浩
〒179-0083
東京都練馬区平和台 3-1-7
コスモジュール氷川台 403号
e-mail: seishoshutoken@gmail.com

とこそが、私たち首都圏支部の使命です。特に近年は、社会のあり方や働き方が多様化し、世代を超えたつながりの価値が再認識されています。同じ学び舎で多感な時期を過ごしたという共通の絆は、時が流れても色褪せることはありません。

先輩方が築き上げてこられた信頼の歴史を礎に、今後は一人でも多くの若手同窓生の参画を促し、より実りある交流の場を広げていきたいと考えております。

併せて、これからは現役学生に対し、首都圏の第一線でキャリアを積んで来られた同窓生からの経験談や人生訓を伝えられる、定期的な交流の場を新たに設け、同窓会活動への理解を深める働きかけを強めてまいりたいと考えております。

未来を担う後輩たちの確かな一歩を支えるためにも、会員の皆様の知見や温かいお力添えをいただきたいと思います。

結びに、新潟大学の今後益々の発展と、会員の皆様のご健勝、そしてご多幸を心より祈念いたしまして、巻頭の言葉とさせていただきます。

令和8年度総会報告



事務局長 成田 浩（昭和58年経済卒）

本年の総会を6月28日に東京新潟県人会館で開催いたしました。

参加者は44名となり、昨年より10名ほど少なくなりましたが、6名の初参加者を交え非常に活発な総会を開催することが出来ました。

また、ご来賓として宍戸邦久経済科学部部長と今井美穂同窓会本部副会長にもご列席いただき、また、支部間交流の一環として福島県中央支部から小林清和さん、栃木県支部から高橋一貴さんにご参加いただきました。

ご来賓の皆様にはお忙しいところまた遠い所お越しいただきまして誠にありがとうございました。

おかげさまで新潟大学の新しい取り組みや同窓会の最近の実情、他支部の活動等を聞くことが出来、また皆さんとの交流を深めることが出来ました。

石井支部長の挨拶につき総会議事に入り、昨年度の活動、決算報告、今年度の活動計画や予算等の議案を了承

いただき、総会議事を終えました。

その後の講演会は、新聞社ご活躍されていた川瀬治さん（平成6年・経済卒）から「AI時代のメディアリテラシー」フューチャーニュースの見破り方」と特別講演として石井支部長からご自身が中心となって奮闘しておられる国家プロジェクト「国産レアアースの実現に向けて」というテーマでご講演いただきました。

いずれも昨今注目されているテーマをタイムリーにお話しいただきました。

お忙しいところご講演いただき誠にありがとうございました。

また総会の最後では長年にわたり「青松ウオーキング」を企画・実施され、この度100回目を貫徹されたことを節目に幹事をお辞めになった石黒清さんに、そのご功績をたたえ、石井支部長より感謝状とお花を贈呈いたしました。石黒さん長年にわたり本当にお疲れさまでした。

総会を滞りなく終了し、同会場での懇親会に移りました。

初参加者や他支部からのお二人にご挨拶をしていただき、様々な分野でご活躍して

●令和8年度 事業計画

事業計画	
5月9日（土）	第1回理事会 会場：東京新潟県人会館 2階ホール 23名 参加 総会向け事業計画、予算等審議
5月27日（水）	第23回 青松芝楽会 クリアビューゴルフクラブ&ホテル（野田市） 3組9名 参加（新潟から1名）
6月28日（日）	第26回 総会 会場：東京新潟県人会館 2階会議室 44名 参加
10月3日（土）	第13回 首都圏五十嵐会 会場：グレースパリ（新宿）
10月上旬	青松40号発行 2,000部余発送
11月	第2回理事会（日程未定）
その他の活動	・常任理事会（年4回程度） ・同窓会通信を配信（毎月5日前後） ・他支部との交流（総会参加） 6/20 栃木県支部（宇都宮市） 小山、吉住2名参加（栃木出身） 6/28 首都圏支部総会に福島県中央支部 小林清和さん 参加 栃木県支部 高橋一貴さん 参加 7/11 長野県支部総会 石井支部長 8/22 東北支部総会 石井支部長 ・本部行事 4/18 第1回 本部常任理事会・理事会 開催 石井支部長 参加 7/4 第2回 本部常任理事会・総会 川瀬理事 参加 10/31 第3回 本部常任理事会 石井支部長 参加予定 10/17 全学同窓会総会 講師として 石井支部長 参加 ・全学首都圏同窓会 10/31 総会（医学部幹事） 東京新潟県人会

いる同窓生の新鮮なお話を聞くこともでき、また、席を入れ替わり、多くの参加者同士が懇談することが出来、さらに同窓生の輪が広がりました。

今回から従来ののがきによる出欠確認をやめ、初めてグーグルフォームを利用した出欠アンケートを取り入れました。通信費等のコスト削減になるだけでなく、時流に

乗った若い方の使いやすしいシステムを採用することで参加者を更に増やしていきたいと考えています。これからの改善、改革を通して、首都圏で活躍、生活している同窓生に気軽に参加してみたいと思うような魅力的な同窓会づくりをしてきたいと思っています。

どうか皆様のご協力ご支援を今後も宜しくお願いいたします。

令和7年度会計報告と
令和8年度予算について

会計担当理事
佐々木 寛
(平成4年法卒)

令和7年度会計報告での収入は、2,730千円となり、予算比では70千円の収入不足でしたが、QR方式での会費納入方法が若手層に浸透しつつあることで、年会費収入は317千円と、前年比23千円の増加となりました。

一方、支出は年次総会開催日にかかるコストの上昇の他、支部間交流を活性化させたことにより、収入と同額にて決算報告が承認されました。

これを受けまして令和8年度予算の収入は年会費収入を高めに想定し、収入合計は2,690千円といたしました。

一方、支出は支部間交流費の増額、支出対策として往復はがきのコスト340千円程度をシステム化により削減し、収入合計と同額の支出合計額が承認されました。

特に今年度は支部間交流を前年以上の回数で計画し、情報交換・連携体制の一層の強化をする方針としております。また、若手層にも受け入れられやすいQR方式でのク

●令和7年度事業決算（令和7年4月1日～令和8年3月31日）

《収入の部》

(単位：円)

項目	予算額	決算額	摘 要	増減
前年度繰越金	699,629	699,629	前年度末現預金合計額	0
本部助成金	1,200,000	1,200,000		0
年会費	400,000	317,000	郵貯：207名、QR：89名、その他：21名	-83,000
参加費	500,000	513,000	当日徴収額	13,000
預金利子	500	787	通常貯金金利上昇（0.001%⇒0.1%）	287
合 計	2,800,129	2,730,416		-69,713

《支出の部》

項目	予算額	決算額	摘 要	増減
支部会報発行費	600,000	550,431	印刷費189千円、会費払込票40千円、郵送費等322千円	49,569
年次総会関係費	700,000	889,717	開催案内作成郵送630千円、会議費260千円等	-189,717
若手組織化、同好会事業費	376,000	320,744	五十嵐会187千円、同好会等50千円、支部間交流84千円	55,256
理事会関係費	394,000	414,537	会議室68千円、会議費347千円	-20,537
事務経費等	200,000	85,480	らくうる年会費40千円、振込手数料46千円等	114,520
次期繰越金	530,129	469,507		60,622
合 計	2,800,129	2,730,416		69,713

レジット決済による年会費の増加を見込んでおり、すでに従来納入の少なかった平成以降の卒業生による会費の納入が増加しております。

また、AIを活用した情報発信ツールの開発、特に出欠連絡のデジタル化についても実現し、取り組みの遅れていたHPの作成についても協議を開始していく方針です。この取り組みは、媒体のデジタル化にとどまらず、情



新理事就任の
挨拶
高橋 美和
(平成17年法卒)

このたび、理事を拝命しました平成17年法学部卒の高橋美和と申します。諸先輩方が築いてこられた活動を次の世

報受発信の積極的な取り組みとして、中長期的な課題として対応していく方針です。

代に繋げられるよう、学びながら任務を努めてまいりたいと思います。

卒業してから年月が経ちましたが、学生時代に学んだことや、出会った先生方、友人、先輩・後輩とのご縁は大きな財産となっています。特に私は転勤により東京在住となったことから、友人も少なく土地勘も有りませんでした。が、大学の先輩・後輩や友人に加え、同窓会の会合で新たな人脈もできとても感謝しています。先日は石井支

●令和8年度事業予算 (令和8年4月1日～令和9年3月31日)

《収入の部》

(単位:円)

項目	予算額	摘要
前年度繰越金	469,507	
本部助成金	1,200,000	
年会費	400,000	全年度と同一の目標
参加費	620,000	総会・理事会等参加費 延べ115人×4,000円
預金利子	800	
合計	2,690,307	

《支出の部》

項目	予算額	摘要
支部会報発行費	600,000	会報印刷費200千円、会報発送作業費400千円
年次総会関係費	740,000	会議費等270千円、資料等作成費120千円、発送・作業費350千円等
理事会関係費	480,000	会議室35千円、会議費445千円等
若手組織化・同窓会事業費等	325,000	五十嵐会165千円、同好会60千円、支部間交流100千円等
事務経費等	100,000	らくるの年会費40千円、振込手数料等60千円
次期繰越金	445,307	
合計	2,690,307	

部長に会食の機会をいただき、パワフルにご活躍されているお姿に刺激を受けました。また、仕事でもそれ以外でも、どんな境遇にあっても Passion が大切と熱いメッセージをいただき、新鮮な気持ちで帰路につきました。考えてみると、様々な業界のお話を伺えるのは当然ですが、現代の会社員生活では経験できない場が同窓会にはあるように思いました。そんな経験をより多くの新しいメンバーにもしていただきたい

な、と思っています。

皆様にご指導をいただきながら、少しでも貢献できるような努力をいたします。どうぞよろしくお願い申し上げます。



初めて総会に参加してみたい
伊藤 昌嗣
(平成10年法卒)

このたび、初めて首都圏支部総会に参加いたしました。これまで同窓会とは縁遠く過ぎてまいりましたが、50歳という人生の節目を迎え、「一度顔を出してみよう」と一歩を踏み出したのが始まりでした。

現在、私は都内のIT企業でサイバーセキュリティ対策に携わっております。目まぐるしく変化する技術の最前線に身を置く日々ですが、総会では異業種で長年活躍されてきた諸先輩方とお話する機会に恵まれ、大変大きな刺激を受けました。多様な分野でキャリアを重ねてこられた先輩方の言葉には、仕事や生き方に対する真摯な姿勢がにじみ出ており、日常の業務では得がたい深い気づきをいただきました。

また、学生時代に汗を流した部活動の元主将とお会いで

きたことも、思いがけない喜びでした。懐かしい思い出を語り合ううちに当時の記憶が鮮やかによみがえり、同窓だからこそつながる縁の温かさを実感いたしました。

「もっと早く参加すればよかった」と後悔しつつも、50歳というこの節目だからこそ味わえた深い感慨があったようにも思います。ここで得た新たなネットワークは、これからの人生の後半戦をより豊かに彩る、最高の「アップデート」になりました。これまで参加を迷っていた皆さんも、ぜひ一度足を運んでみてください。きっと、期待以上に刺激的で心地よい時間が待っているはずです。

新潟大学首都圏同窓会 (全学部) 総会を開催します

新潟大学首都圏同窓会会長
成田 浩
(昭和58年経済卒)

首都圏同窓会は全学部で構成されており、総会は今年で52回を数える非常に歴史のある同窓会です。今年の総会は医学部が幹事です。(7学部が毎年持ち回りで主催。)

首都圏の同窓生が全学部を横断して交流が図れる唯一の集

いです。是非ご参加ください。

日時: 10月31日(土)

13時～ 総会議事、講演会
(医学部)

15時～17時 懇親会

会場: 東京新潟県人会館

2階

・会費: 懇親会費7,000円、年会費1,000円

・参加者数: 60名前後(予定)

・メールアドレスが登録されている会員の方には

既にご案内をいたしておりますが、それ

以外の方でご参加を希望される方は、以

下のメールアドレスに

ご一報ください。

詳細の案内をメー

ルいたします。

Okome0355@gmail.com
成田浩 宛

青松芝楽会 第二十四回青松芝楽会とゴルフマナー



柿沼 寛
(昭和46年経済卒)

昨年からの同期の堀敏雄さん、近藤次夫さんとともに、首都圏支部「青松芝楽会」の幹事を拝命し、これまで3回のゴルフ大会を開催してまいりました。今秋も10月29日に、前回と同様クリアビューゴルフクラブ&ホテルで開催

の予定です。参加者の募集は主にメールで行ってきましたが、高齢化や健康上の理由で参加が難しくなる方も見受けられ、今後の参加者減少が懸念されます。ゴルフ人口は減少していきと言われているだけに、芝楽会の活動を周知し参加したいと思っていただけOB・OGの皆様を増やしたいと考えています。

さて、ゴルフはイギリス発祥と言われますが、その起源には諸説あり、未だ定説がないことも興味深いところです。私がゴルフを始めたのは約50年前、会社のコンペがきっかけでした。当時は打ち方以上に、先輩方からマナーを熱心に教えられました。

ティーグラウンドで静粛にする、バンカーをレーキで整える、デボットやボールマークを直す、パッティングラインを踏まない、スロープレーを避けるなど、今でも基本的な事ばかりです。

最近セルフプレーが中心となり、キャディさんからマナーを学ぶ機会も少なくなりました。先日、バンカーに入ると、砂が波打ち、靴跡や打球痕が残ったままで、脱出に苦労しました。グリーンにもボールマークが多く見られました。マナーを教えてください。

先輩やキャディさんが身近にいないことも、一因かもしれません。安全への配慮も含め、ゴルフには周囲への気遣いが欠かせないと感じます。ゴルフは楽しいスポーツですが、ちょっとした気遣い一つで、さらに楽しくもなれば不快にもなります。その点は社会生活にも通じます。周囲に迷惑を掛けず不快にさせない気遣いが大切です。初心に立ち返り、マナーを見つめ直しながら、第24回青松芝楽会を皆様と楽しく開催したいと思います。

青松ウォーキング報告

石黒 清
(昭和41年経済卒)

2005年3月から始めた青松ウォーキングですが、今年2月7日（土）に遂に100回目を実施することができました。

東京メトロ有楽町線新富町駅の改札に集まった参加者は18名。前日までの温かさが急な寒気の影響で急変、小雪が舞うなかでのウォーキングとなりました。築地本願寺にお参りして、インバウンドで賑わう築地場外市場を通り、波除神社へ。勝鬨橋資料館を見学してから、チョット日本離れた景観を楽しみながら隅田

川テラスを歩き、佃大橋を渡って佃島へ。最後は月島もんじゃストリートの丁度真ん中にあるもんじゃ焼きのお店に。

青松ウォーキング第1回目から参加の昭和39年法卒阿部尚武さんをお店で待ち合わせで、「今日無事に完歩できたこと」と「青松ウォーキング100回記念」を祝ってみんなで乾杯しました。そして、今回の「青松ウォーキング100回記念」として用意した記念グッズは同窓会本部事務局にお願いして大学生協から購入した新潟大学ロゴ入りのトートバッグとボールペンです。これを機会に参加の皆さんがご利用いただけることを期待してお渡ししました。

長い間青松ウォーキングにお付き合いいただいたウォーキング参加の同窓の皆さん、ありがとうございます。一



石黒さんの長年にわたるご功績をたたえ、感謝状と花束を贈呈しました。

時私が体調を崩したこともあり、途中から青松ウォーキング世話人を昭和40年経卒山我正明さんにお手伝いしていただきましたが、同窓生の奥様方や他学部同窓生の皆さんも青松ウォーキングに参加されてこまめで長く続けることができました。

なお、番外で実施した2009年10月に青松ウォーキング有志6人で歩いた『山梨の信玄棒道ウォーク』

・2010年10月に本部と共催した『越後湯沢ウォーク』
・2011年10月に会津支部と共催した『会津若松街並みウォーク』

・2016年4月に工学部と共催した『大宮の氷川神社お花見ウォーク』
など思い出イッパイの青松ウォーキングでした。

これまで青松ウォーキング

の世話人として青松ウォーキングを続けてきましたが、私が高齢になったこともあり、今回で青松ウォーキング世話人を引退させていただくことになりました。重ねてこれまで青松ウォーキングにご参加いただいた皆さん、ご支援いただいた首都圏支部同窓会事務局に感謝いたします。ありがとうございました。

栃木県支部交流報告



高橋 一貴
(平成2年経済卒)

こんにちは。栃木県同窓会事務局長の高橋です。首都圏支部総会にお招きいただきありがとうございます。これまで栃木県同窓会総会には、成田事務局長（令和6年）、栃木県出身の吉住さんと小山さん（令和8年）に参加いただいておりますが、このようなご縁もあり、今回栃木県同窓会から初めて参加させていただきます。当日は初めてにもかかわらず、2次会まで押しかけていただきましたが、支部の垣根を越え、同じ新潟大学で学んだ者同士、楽しい時間を過ごすことができました。

さて、栃木県同窓会は今年

設立10周年を迎えましたが、コロナ禍を経て総会参加者の減少に悩んでおります。特に若手の参加が定着しません。役員についても新しい血を入れていかなければと強く感じております。

今回の参加で首都圏支部も同じような状況にあると感じましたが、そこは人材豊富な首都圏支部。様々な特技、人脈を持った方々が年代を超えて活動に携わっており何とも羨ましい限りです。栃木県同窓会でも、新たな人材を発掘し、活性化につなげていけたらと考えているところです。また、今回の交流をきっかけに、吉住さんと小山さんには栃木県同窓会の特別会員となっていたいただきました。他にも栃木県に縁のある方が多数いらつしやることも分かりました。是非このようなご縁を大切にしながら交流を深め、活動を盛り上げていきたいと考えております。今後ともよろしく願います。

福島県中央支部交流報告



小林 清和
(平成7年経済卒)

皆さん、こんにちは。福島県中央支部の小林清和と申します。平成7年に経済学部を卒業し、現在は福島県の東邦

銀行に勤務しております。

この度、令和八年度の青松会首都圏支部総会にお招きいただきましたので、その模様をご報告いたします。

私が所属する福島県中央支部は、今年度で立ち上げから10年の節目を迎えました。私も事務局・理事を拝命しており、そのご縁から今回は首都圏支部の総会に参加する運びとなりました。

冒頭、来賓挨拶の機会を頂戴しました。私は学生時代、講義にはあまり出席せず軽音楽部でバンド活動に明け暮れ、5年も大学に通うことになりましたが、社会に出てからは多くの新潟大学の先輩や同僚に支えられてきました。私が今日まで仕事を続けられているのは、間違いなく母校のおかげです。そんな少し自虐を交えた挨拶をさせていただきました。

首都圏支部総会の参加は今回が初めてでしたが、仕事の談義や当時の音楽サークルの思い出話、福島に纏わる話題などで大いに盛り上がり、期待以上に有意義で楽しい時間を過ごすことができました。首都圏支部の皆さま、当日は温かく迎えていただき誠にありがとうございました。またお会いできる日を心より楽

しみにしております。

法学部賢人会議報告



岩崎 倫之
(平成10年法卒)

2025年10月14日、法学部の講義「賢人会議」に登壇する機会を頂きました。同講義は、毎回実務家である講師が講義と学生との質疑応答を行うものです。

今回の登壇は2回目です。前回は2017年に三井物産に勤務し、海外転勤から帰任したばかりの頃でした。大学との間を取り持たれた小山武良さんのアドバイスもあり、商社での仕事と海外勤務についてお話させて頂きました。講義後、私のところに感想を話してくる学生さんもあり、うれしく感じたものでした。

今回は就職活動についてお話をさせて頂きました。前回登壇した際に学生さん達から受けた質問の多くが就職活動に関するものでしたので、これは学生の皆さんにとって大きな関心事項だろうと思いました。講義では、就職活動そのもののより寧ろその準備が重要なこと、準備にあたってのムーシヨット思考やバックキャスト思考、志望する業界や会

社の決め方、エントリーシートを書く際や面接に臨むにあたっての考え方等について、採用する企業側の目線を交えてお伝えさせて頂きました。また、私自身の経験を踏まえ、どのような考え方で就転職活動をしたのかについても紹介させて頂きました。その際は「セレンディピティ(偶然の出来事を幸運に変える能力)」をどう発揮するのかについてもお話ししました。尚、セレンディピティは理系の研究者の間で人気のある言葉だそうです。私は化学の研究者であった父から学びました。色々話した中で反響が大きかったのは「新大生の就活に立ちはだかる壁」の話でした。これは何のことだと思えますか？

全くの私見ですが、それは「自己達成予言」ではないかと話させて頂きました。自己達成予言というのは「根拠のない思い込みとか予測が、実際にその通りの結果を引き起こす」心理学的現象です。

学生時代の私の身の回りでは、私なんかより確り勉強していたり、課外活動などでリーダーシップを発揮していたり、高いコミュニケーション力を持っていたり、人間的にも私よりも大人だなと感じる人達が、ささやかな目標しか持たずに小さくまとまってしまっている例をたくさん見ました。これは本当にもったいない。講義では少し挑発的な言い方をしましたが、新大生は自分達をもっと高く評価しても良いのではないかと。といった趣旨のことを伝えさせて頂きました。

講義の準備の際は、新大法学部出身で、野村証券を経てリクルートキャリアに勤務し、就・転職活動のプロでもある白井悠子さんに取材させて頂きました。「新大生に立ちはだかる壁を突破する方法」についても意見交換させて頂いたところ、キーワードとして一致した意見は「切磋琢磨する仲間との交流」で、このことも学生さん達に紹介させて頂きました。

ずいぶんと内容を詰め込んだ講義となりましたが、多くの学生さんが熱心に聞いてく



グループラインにご参加ください！

首都圏支部の同窓生が参加できるLINEのグループに参加しませんか。

気軽に新潟や新潟大学に関する情報を交換したり、同窓会の交流会や懇親会の情報も得られますので、奮ってご参加ください！

■参加方法

- ①QRコードを読み込み、タップする
- ②表示された画面にある「参加」をタップする

- ・投稿する際には、毎回冒頭に「卒年・学部・お名前」を書いてください。
- ・初めて参加される際には簡単に自己紹介をお願いします。



ID:miraichallenge

＜お願い＞リンクを投稿する際は、リンクだけを送信するのではなくコメントも是非併せてお願いします。
上記とは関係のない内容は迷惑になりますので投稿しないでください。

※ QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

■投稿可能な内容

- ・新潟大学、同窓会活動に関する内容（昔話もちろんOK！）
- ・新潟に関する内容（例：観光や食の情報、スポーツの情報、テレビ番組や動画、書籍、新聞記事の紹介など）
- ・ご自身のお仕事やビジネス、活動のお話で、同窓生に情報を提供して交流を図りたい内容や、知恵を借りたいもしくは支援を受けたい内容（例：展示会の告知、経営している会社やお店の紹介、クラウドファンディング協力依頼など）
- ・同窓会本部や首都圏支部からのご連絡

れました。「一緒に講義を受けていた友人たちが、休憩時間に今回の講義を聞いて自分も留学したいと思ったと言っていた。」「私も今日聞いたお話を背中を押されて、もっと視野を広げて、進路を決めていきたいと思った。」といった趣旨の感想を頂きました。

講義の途中で質問を募ったところ、積極的に手を上げる学生さんもあり、講義を受ける側の熱量も感じました。そんな学生さん達の近い将来の活躍を願うとともに、講義をした自分としても背筋が伸びる思いでした。最後に、登壇の機会をご紹介します。

東京五十嵐会にご参加ください

介頂いた小山さん、就・転職サポート現場のお話をお聞かせ頂いた白井さん、講義をご手配頂き講義方法についてもアドバイスを頂いた河野先生、この記事の出稿にあたりご手配を頂いた岡さん、当日お忙しい中お会い頂いた上村法学部長、田巻副学長に深く御礼申し上げます。

メールマガジン「同窓会通信」を発行しています

首都圏支部では、毎月5日ごろにメールマガジンを発行しています。主な内容は次の通りです。

★首都圏支部事務局からのお知らせ

★同窓会の企画のご案内（五十嵐会、ゴルフ、講演会、交流会、懇親会など）

★大学や同窓会本部に係るニュース、HPやFacebookなどの記事の紹介

★今どきの新潟のニュースや話題

★活躍する同窓生のご紹介 など

メールマガジンを受信希望の方は、下記の事務局のアドレスまでお知らせください。

記事の送付先（事務局）：
seishoshutoken@gmail.com

下さい。また、記事や投稿も広く募集しておりますので、情報がありましたら同アドレスまでお願いします。

編集後記

岡 小夜子
(平成4年人文卒)

今号で、節目の40号を迎えることができました。これまで会報を支えてくださった皆さまに、心より御礼申し上げます。これからも同窓生の皆さまとともに歩んでまいります。今後は、メールマガジンも含め、同窓会の情報発信のあり方や手段を検討していく予定です。よりよい会報・情報発信のため、ご協力いただけます方をお待ちしております！



2026年 総会